

ポリアセタール樹脂

POM

(Polyacetal Resins)

別名	ポリオキシメチレン(POM) ポリホルムアルデヒド		
概要	<p>1960年に米デュポン社がホモポリマーを、次いで同62年セラニーズ社(米)が、コポリマーを工業化したのに始まり、わが国では、セラニーズ社とダイセル化学工業(現ダイセル)との合併会社であるポリプラスチックが昭和37年に市販を始め、同43年に国産化を開始した。続き自社技術により開発に成功した旭化成工業(現旭化成ケミカルズ)および三菱ガス化学(現三菱エンジニアリングプラスチック)に事業移管も参入した。</p> <p>耐疲労性、強靱性、耐摩耗性など、他の材料にはみられない優れた特長を持っており、金属にかわるプラスチックとして広く用いられている。</p>		
原料	α-ポリオキシメチレン ホルムアルデヒド		
製法	α-ポリオキシメチレンを熱分解してモノマー蒸気を発生させ、これを窒素ガスとともに15℃に保った2個のトラップを通して不純物を除去したのと、ペンタン、トリプチルアミンからなる液体を25℃で、激しく攪拌しているなかに送り込むと雪白色粒状のポリマーが得られる。		
荷姿	紙袋(25kg)		
規格	JIS K7364-1-04(ISO9988-1-98), ISO9988-1-98(ISO9988-2-99)		
性状	<p>結晶化度が80～90と他の結晶性樹脂のなかで最も高い。このため耐衝撃性にすぐれ、バランスのとれた機械的特性をもっている。疲労強さは全樹脂中最高であり、摩擦、摩耗特性にすぐれている。その他、耐クリープ性、耐有機薬品性、寸法安定性がよい。</p>		
成形加工法	射出成形、押出成形、中空成形		
用途	自動車、電子製品、容器、日用雑貨、電機製品、一般機械、配管部品、精密機械、シート・板、その他工業部品、その他輸送機器、輸出		
製造業者	旭化成ケミカルズ インターテック(再生) セラニーズジャパン(輸入) デュポン	東レインターナショナル(輸入) BASFジャパン(輸入) ポリプラスチック 三菱エンジニアリングプラスチック	
備考	既存化学物質 輸出(入)統計品番号	(7)-129 3907.10-100(3901.10-100)	CAS No. 25231-38-3 24969-26-4